

研究・調査報告書

報告書番号	担当
98	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
<p>Antibodies against 5-hydroxymethyl-2'-deoxyuridine are associated with lifestyle factors and GSTM1 genotype: a report from the Malmo Diet and Cancer cohort. 5-水酸化メチル-2'-デオキシウリジンは生活習慣因子と GSTM1 と相関する : the Malmo Diet and Cancer cohort からの報告</p>	
執筆者	
Wallstrom P, Frenkel K, Wirfalt E, Gullberg B, Karkoszka J, Seidegard J, Janzon L, Berglund G.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev, 2003; 12(5): 444-51.	
キーワード	
5-HmdU、GSTM1、GSTT1、喫煙、飲酒、肥満	
要旨	
<p>目的：酸化 DNA の塩基鎖 5-水酸化メチル-2'-デオキシウリジン (5-HmdU) に対する血漿自己抗体 (aAbs) は、がんリスクと酸化ストレスの潜在的生化学的指標であるが、この aAbs が、がんの様々な危険因子 (喫煙、飲酒、体躯肥満、グルタチオン-S-トランスフェラーゼ M1 および T1 (GSTM1, GSTT1) 欠損) と関連があるか調べた。</p> <p>方法：スウェーデンの Malmo Diet and Cancer 地域コホートの断面研究。対象者は 46 歳から 67 歳までの男性 264 名と女性 280 名を用いた。抗 5-HmdU-aAb 濃度は ELISA 法を用いて測定した。体躯肥満はバイオインピーダンス法を用いて測定した。</p> <p>結果：aAb 抗体価は高度飲酒者で有意に高値であった。GSTM1 欠損のある現在喫煙者は、特に男性では、非喫煙者あるいは GSTM1 発現者と比べて aAb 抗体価は高かった。体躯肥満は男性では抗体価と負の相関を示した。GSTT1 ゲノタイプと aAb 抗体価とは関連を認めなかった。全てにおいて女性では aAb 抗体価は高値であった。幾つかの潜在的交絡因子で調節しても結果は同じであった。</p> <p>結論：今回のコホートにおいて、高度アルコール摂取、GSTM1 欠損者の喫煙、(男性の) 体躯肥満度の低値が、抗 5-HmdU-aAb の高抗体価と関連していることがわかった。</p>	